



断ち切ろう、 コロナ差別。



新型コロナウイルスの感染者やその御家族、
医療・福祉従事者、社会のために働き続けている人、
国内に居住する外国人・外国籍市民などに対する誹謗中傷や
心無い書込みなどが SNS を中心に広がっています。
こうしたことは、人を深く傷付け、感染拡大防止の妨げにもなります。
私たち一人一人が感染症を正しく理解し、互いを思いやり、
支え合いながら共に乗り越えていこうとすることが、
感染症の拡大防止につながります。



冷静に行動するためのセルフチェック



- 特定の地域出身の人、海外渡航歴がある人について、「あの人はコロナだ」などと決めつけたりしていませんか。
- 医療従事者やその家族に対して、「感染しているかもしれない」という理由で避けたり、差別的な扱いをしたりしていませんか。
- 「誰々がコロナらしい」といった噂を耳にしたとき、「どこに住んでいるのか」「どこの学校か」などと、知りたがろうとしたり、それを他の人に広めようとしていたりしていませんか。（人権侵害につながります。）
- 「感染した人は遊び歩いていた人に違いない」などと、決めつけていませんか。（どんなに気を付けていても感染することはあり、感染者を責めてはいけません。）
- 感染して治療を受けている人が肉体的・精神的にどれほど辛い状況にあるか、知ろうとしていますか。また、想像してみましたか。

協力 松波めぐみ（龍谷大学非常勤講師／（公財）世界人権問題研究センター登録研究員）

...

あなたも、私も、不安は同じ。
思いやりを大切に、みんなで乗り越えましょう。